キャラクター名: ラグナ

プレイヤー名:

種族	グラスランナー	種族特徴	マナ不干渉、虫や植物との意思疎通		
生まれ	盗っ人	性別	男	年齢	34
冒険者Lv	9	経歴	才能を絶賛されたことがある		
経験点	430		大切な約束をしている		
			大好きな食べ物がある（あった）		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	13	器用度	7	4		24	4
		敏捷度	9	4		26 + 1	4
体	0	筋力	5	4		9 + 2	1
		生命力	14			14	2
心	12	知力	4	2		18	3
		精神力	15	3		30	5

技能	Lv.	技能	Lv.
フェンサー	9		
スカウト	7		
レンジャー	2		
アルケミスト	1		

戦闘特技

トレジャーハント	2120p		p
ファストアクション	2123p		p
挑発攻撃	1-287p		p
回避行動	1-279p		p
頑強	1-279p		p
防具習熟A/非金属鎧	1-282p		p
変幻自在	1-282p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
グラスランナー語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術

ヒールスプレー		

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	9	13	13	10
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	無謀なアラミドコート		5	2	0
盾	重いバックラー		3	2	0
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				2	1
回避技能	フェンサー		合計値	19	1

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ライトメイス 強化	1H	5	2	2d+ 15	11	11	10										
ブレードスカート	1H	0		2d+ 13	10	10	10										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	27 m	81 m

回避	防護点
2d+ 19	1

HP
56

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/×	2d+ 11

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 11	2d+ 14

MP
0

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品		説明
頭	セーフティメット	
耳	蝙蝠の耳飾り	盲目ペナを-2にする
顔		
首	水晶の首飾り	毒・病気に抵抗+1
背中		
右手	筋力の腕輪	
腰	ブレードスカート	
足	足枷の烙印	知能低い以外の相手も挑発できる。2dで4以下の場合自動失敗になる。
その他		

装備品		説明
左手	敏捷の指輪	

その他メモ

かつて界隈でスリの才能を絶賛されたグラスランナーの青年、ラグナ。
しかし、ある日老人を標的にしてスリを働いた際に見とがめられてしまう。
持ち前の素早さを活かして逃げようとしたラグナだったが、それ以上の速度を持った老人に追跡され、捕縛された。
潮時かと彼がすべてを諦めかけた時、老人が思いがけない言葉を発した。
「金が欲しいなら、儂の部下になってみんか」
これがラグナと自警団「ヴェーラー」の指揮官メルクリウスとの出会いだった。
メルクリウスの下で素早さを活かした特訓をしつつ、過去の罪を清算するために奔走する毎日。
ラグナは徐々に力をつけていき、人々に信頼されるようになっていく。
しかし時の流れは残酷なもので、ラグナが成長するにつれてメルクリウスは衰えていった。
そしてついにその日は訪れる。
――メルクリウスの引退。

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟

キャラクター名
ラグナ

プレイヤー名

一般装備品 (消耗チェック)

月光の魔符Ⅰx3	○□□○□□	○□□○□□
月光の魔符Ⅱx5	○□□○□□	○□□○□□
月光の魔符Ⅲ	○□□○□□	○□□○□□
陽光の魔符Ⅰx3	○□□○□□	○□□○□□
救命草x2	○□□○□□	○□□○□□
魔香水x5	○□□○□□	○□□○□□
ヒーリングpx5	○□□○□□	○□□○□□
スカウトツール	○□□○□□	○□□○□□
マテリアルカードAx15	○□□○□□	○□□○□□
マテリアルカードS	○□□○□□	○□□○□□
陽光の魔符Ⅱx5	○□□○□□	○□□○□□
陽光の魔符Ⅲ	○□□○□□	○□□○□□
敏捷の指輪x2	○□□○□□	○□□○□□
	○□□○□□	○□□○□□
	○□□○□□	○□□○□□